

教科	美術科	学年	1 学年	標準授業時間数	4 5 時間（週 1～2 時間）
----	-----	----	------	---------	------------------

目 標	教科目標	楽しく美術の表現や鑑賞の活動に取り組み、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。また、自然や美術作品などについての基礎的理解や見方を広げ、よさや美しさを感じ取る鑑賞の能力を育てる。
	具体目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用具を忘れずに準備し、きちんと片づけ、意欲的に作品の制作に取り組む。 ・ 発想能力を十分に働かせ、創意工夫をする。 ・ 色や形の性質や様々な用具の正しい使用法を理解し、美しい表現へと生かす。 ・ 自分や他の生徒の作品・その他の美術作品の鑑賞を通して、よさや課題を発見しその後の表現活動に生かす。

評 価	観 点	美術への関心 ・ 意欲・態度	主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、その喜びを味わい美術を愛好していこうとする。
		発想や構想 の能力	感性や想像力を働かせ、感じ取ったことや考えたことなどをもとに豊かに発想する。
		創造的な技能	表現の技能を身につけ自分なりの表現方法を創意工夫し創造的に表す。
		鑑賞の能力	様々な美術作品に親しみ、よさや美しさを感じ取ったり、理解する。
	材 料	・ 作品 ・ クロッキー帳 ・ 鑑賞カード ・ 自己評価カード	
方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイデアスケッチや資料収集を行っているか ・ 鑑賞カードや自己評価カードをきちんと考え記入しているか ・ 作品の提出期限を守り、最後まで丁寧に制作しているか ・ 定期テスト 以上のことを中心に総合的に判断する。		

学 習 方 法	使用教材	・ 教科書 美術 1 感じる心（日文） ・ 副教材 美術資料広島県版（秀学社）	
	学習形態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に、美術室で授業を行う。 ・ 個人制作・学習を基本とするが、単元や内容によってはグループ制作・学習をする。 	
	学 習 進 め	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制作過程を十分理解した上で、資料などを利用しアイデアスケッチをするなど構想を練る。 ・ 提出期限を必ず守り、意欲を持って最後まで丁寧に制作する。 ・ わからないことなどは質問し、より質の高い作品の制作を目指す。 ・ 生徒作品や美術作品のよさや美しさを素直に感じ取り、それを自分の表現活動へと結びつける。 ・ 自分の作品に自信を持ち、がんばったことなどを語れるようにし、また、他の生徒の作品や美術作品のよさを認めることができるようになる。
	方 法	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の解説や、授業において記録した事柄などをしっかり読み返し、理解する。 ・ 授業で配布されたプリントや資料などを参考にして、様々なアイデアを練る。 ・ 自分の表現意図や課題を明確にし、資料をできるだけたくさん集め整理する。 ・ 構想や作業に時間や手間がかかるときは、家庭学習で補う。

学習内容

月	単元名・項目	学習のポイント
4	<ul style="list-style-type: none"> ・スケッチの楽しみ 〈絵手紙の制作〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や身近な対象物などを鑑賞し、形や色彩などの美しさを感じ取る。 ・自分の表現に合う材料や画材を選ぶ。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・色の広がり 色の魅力 〈色の整理〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・色から受ける感動やイメージの変化について、表現効果を考える。 ・色の性質や分類について基礎的な知識を学習し、配色などの応用力を付ける。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を生かして 〈単純化によるデザイン〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察から形の規則性や対称性、色の不思議などを発見し、表現意欲とする。 ・自然物をヒントに構成したり、表現への応用を工夫する。
7		
9	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び心の造形 〈ボックスアート〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の特性を生かしたアイデアで遊び心を表現し、造形の楽しさを味わう。 ・様々な材料を収集し、その多様な材料の加工方法や使い方を工夫する。
10		
11		
12	<ul style="list-style-type: none"> ・見ることのすばらしさ 〈デッサン〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な対象をじっくり観察し、素直に感じ取ったよさや美しさを絵で表す。 ・表現の意図に応じて材料や用具を生かし、基礎的技能を身につける。
1	<ul style="list-style-type: none"> ・4点のひまわり 〈鑑賞レポート〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・よく知られたゴッホのひまわりの絵を、他の3人の画家のひまわりの絵と比較鑑賞し、それぞれの表現のよさを味わう。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・心に残る情景 〈ステンシル〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の風景の美しさや生活の中で感動した出来事などをステンシルで表す。 ・ステンシルの制作手順を十分理解し、表現方法を工夫する。
3		
年間	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞会 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの作品や様々な美術作品の鑑賞を通してよさを発見し、自分の作品制作に生かす。